

今年度を終えるにあたって～令和7年度修了式講話より

校長 桑原 俊二

令和7年度を終える当たりまして、保護者の皆様、地域の皆様に御理解と御協力を賜りましたこと、心より感謝いたします。

4月からの次年度も変わらず御支援いただきますよう、どうぞ、よろしく願いいたします。

以下は、3月25日（水）修了式で子どもたちにお話しした講話の内容となります。

今日で3学期を終えると同時に、令和7年度の一年間が終わります。この一年は皆さんにとって、どのような一年であったでしょうか。

1年前の昨年4月、始業式と入学式で、自分のよいところを伸ばすために、夢と希望をもって、いろいろなことに積極的に挑戦してほしいと皆さんに話しました。

皆さん、1年間を振り返って「挑戦」はできたでしょうか。失敗を恐れずに、多くのことに挑戦したことで成果を得て、充実し大満足の一年間だった人もいます。

反対に、なかなか勇気が湧かずに思うような挑戦ができなかった人もいます。また、せっかく勇気をふり絞って挑戦したのに、なかなかうまく進まずに、悩んだり困ったりした人もいるのではないのでしょうか。

まずは、1年間を振り返ってしっかりと考えてほしいと思います。私も今日のような区切りの日には、自分なりに1年間を振り返って考えるようにしています。

毎年振り返ってみて、うまくできたことは少なかったなとがっかりすることの方が多いです。反面、数少ない成功は、今後に向けての自信となり、よし、また4月から頑張ろうという気持ちになります。

私が心がけていることは、勇気が足りなくて挑戦できなかったことや、うまくできなかったことを振り返り、これからどうするか、4月からどのようにして取り組むかを考えるということです。失敗から学ぶということです。皆さんも、しっかり考えて、今後に生かすようにしてほしいと思います。

また、今日のような「区切りの日」に皆さんに考えてほしいことがあります。それは、私たちは常に多くの人と関わり合いながら生きているということです。一人一人の力には限りがありますが、解決が難しい課題に直面したとき、周りの人たちと共に考え、知恵を出し合っていくことで、一人ではたどり着くことのできない答や方法を導き出すことができるということです。人間の良さは、互いの足りないところを補い合って生きていくことなのだと思います。

先日、68名の皆さんの卒業生が、立派に成長した頼もしい姿で卒業していきました。皆さんの参加する態度や在校生合唱などもたいへん立派なものでした。きっと、皆さんも在校生として式に参加する中で、卒業生への思いや、1年後、2年後の自分の姿など、様々なことを考えたことと思います。

私は一人一人の卒業生の顔を、目を、しっかり見ながら卒業証書を手渡しました。卒業生の目は、これからの希望と期待に光り輝いていました。素晴らしい卒業式でした。1、2年生の皆さんの、1年後、2年後の姿を想像し、楽しい気持ちになりました。

最後に、いつも話すことですが、皆さん、どうか自分の命を大切にしてください。雪がなくなり、車のスピードが高まります。自転車に乗る機会もあるかと思います。交通安全には十分に注意してください。交通安全以外についても常に安全に留意して生活し、事故に遭わないよう自分の命を大切に作る行動を心がけてください。

明日からの春休みは、希望と期待にあふれる新たな1年間を迎えるための準備期間と考えて、有意義に過ごしてほしいと思います。

始業式は4月8日です。「さあ、やるぞ。」という前向きな気持ちをもって元気に登校して行くことを願っています。

以上で、修了式にあたっての話を終わります。